

平成 21 年度
図書館概要



徳島大学附属図書館

* 表紙の写真は、左上から、本館正面の夜間及び昼間、蔵本分館の新館

目次

| | |
|----------------------|----|
| 1. 施設・設備 | 1 |
| 1.1. 本館(リニューアルオープン) | 1 |
| 1.2. 蔵本分館 | 4 |
| 2. コレクション | 6 |
| 2.1. 貴重資料 | 6 |
| 2.2. 個人文庫 | 8 |
| 2.3. 郷土資料 | 8 |
| 2.4. 大型コレクション | 8 |
| 3. 電子図書館サービス | 10 |
| 3.1. データベース | 10 |
| 3.2. 電子ジャーナル | 11 |
| 3.3. 貴重資料のデジタル化 | 12 |
| 4. 広報 | 13 |
| 4.1. 附属図書館ホームページ | 13 |
| 4.2. メールマガジン「すだち」 | 14 |
| 4.3. 概要及び年次報告書 | 14 |
| 5. 講演会等 | 15 |
| 5.1. 学術講演会 | 15 |
| 5.2. 知的感動ライブラリー | 16 |
| 6. 地域社会及び学外機関との連携・協力 | 17 |
| 6.1. 一般市民への図書館公開 | 17 |
| 6.2. 県内図書館との連携 | 17 |
| 6.3. 大学図書館の協会・協議会 | 18 |
| 7. 所在地・アクセス | 19 |
| 7.1. 所在地と交通アクセス | 19 |
| 7.2. キャンパスマップ | 20 |

1. 施設・設備

徳島大学附属図書館は常三島キャンパスの「本館」と蔵本キャンパスの「蔵本分館」の二つの図書館で構成されており、それぞれのキャンパスに立地する学問分野に即したサービスを行っています。

1.1. 本館(リニューアルオープン)

学長・理事、施設マネジメント部を始めとする関係の皆様のご努力により、平成 19 年度補正予算及び大学法人の予算措置をいただき、2009(平成 21)年 3 月 19 日に全面改修が実現しました。

改修中は、全学共通教育センター 4 階の 2 部屋をお借りして仮設図書館を開設し、2008(平成 20 年)9 月 24 日から 2009(平成 21)年 3 月 24 日までサービスを行ってまいりました。紙面上ではありますが、改めて関係の皆様にご挨拶申し上げます。

新装なった図書館でのサービスは、2009(平成 21)年 5 月 11 日に一部開始し、6 月 29 日には記念式典を行い、全面サービスに移行しました。

コンセプトは、学習環境の最適化、いわゆるラーニング・コモンズを核に、教育とコミュニケーションの場としての再生です。ラーニング・コモンズとは、学生の学習に必要なもの・サービスが集約されている学習環境のことです。

そこで 1 階をコミュニケーションゾーン、2 階をサイレントゾーンと明確に区分し、従来 2 階にあった玄関を 1 階に移動し、すぐ脇にカフェテリアを配し、東翼には ICT 機器・グループ研究室・視聴覚コーナー・ブラウジングコーナーを設け、グループでの学習・憩いの場を実現しました。施設を有効に機能させる人的サービスの充実が今後の課題です。

2 階は、自然系図書を配置した東閲覧室、個人ブースをイメージした学習机、社会科学系図書を配置した西閲覧室、そして研究個室 5 室を設け、静かな環境を提供しています。また、本学の貴重資料(伊能図・蜂須賀藩家臣成立書并系図等)を最適な環境で保存する貴重資料室・和装本資料室を完備しました。

3 階は、落ち着いた学習できる人文系図書を配置した東閲覧室には研究個室を 3 室設けています。そして、雑誌などのボリュームのある資料を保管する積層書庫(2 層)。マルチメディアコーナーには 1 階同様、スクリーン・プロジェクターを設置して講習会などにも利用できるよう配慮しました。多目的ホールでは、講演会その他の催し、会議など多様なニーズに応えられるよう最新の視聴覚機器も備えています。さらに資料展示室は本学の貴重資料を自館内で展示できる初めてのスペースとなります。多目的ホールの講演会とリンクした展示も可能です。

【本館 1 階玄関】



1階が玄関となり、それまで事務・管理スペースであったものが、利用者のための閲覧スペースに生まれ変わりました。

改修前に比較して利用者のためのスペースが約1.5倍に拡張されたため、以下のようなエリアを設けることができ、これまでできなかったサービスも可能となりました。

【新着雑誌コーナー】
学術雑誌の最新号が閲覧できます



【カフェテリア】
コミュニケーションエリアの象徴です。自販機を2台設置しています。



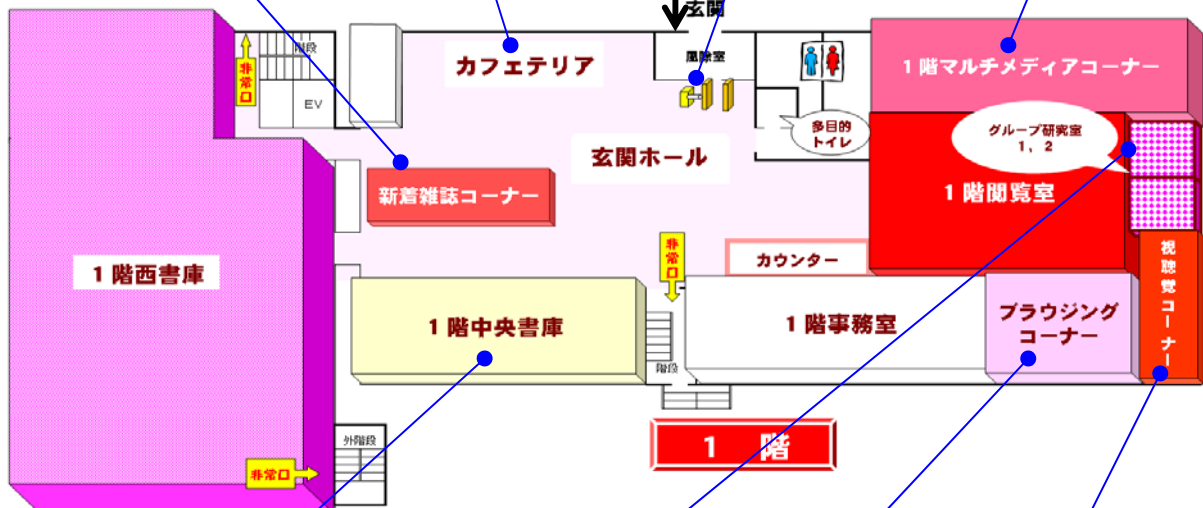
【自動入館システム】
利用証(学生証)のバーコードを読み取り、開閉します。



【マルチメディアコーナー】
24台のPCが向かい合わせで設置されています。会話しながら利用できます。



1階北側に玄関があります。左右にスロープを配し、身障者用の駐車スペースも完備しました。



1階南側には、さまざまな植物が繁茂しており、CO₂削減に一役買っています。



【1階中央書庫】
洋雑誌のバックナンバーを配置しています。普通の書架の2倍の収容能力があります。



【グループ研究室】
1階に2室用意しています。予約が必要です。



【ブラウジングコーナー】
軽い読み物を揃え、すわり心地の良い椅子を配置しています。視聴覚コーナーと一体化して癒し空間となっています。



【視聴覚コーナー】
4つのブースとグループで視聴できる大型ディスプレイの2通りで楽しめます。視聴覚資料は周りに配置されています。

【研究個室】
教員、大学院生が利用できます。申し込みが必要です。



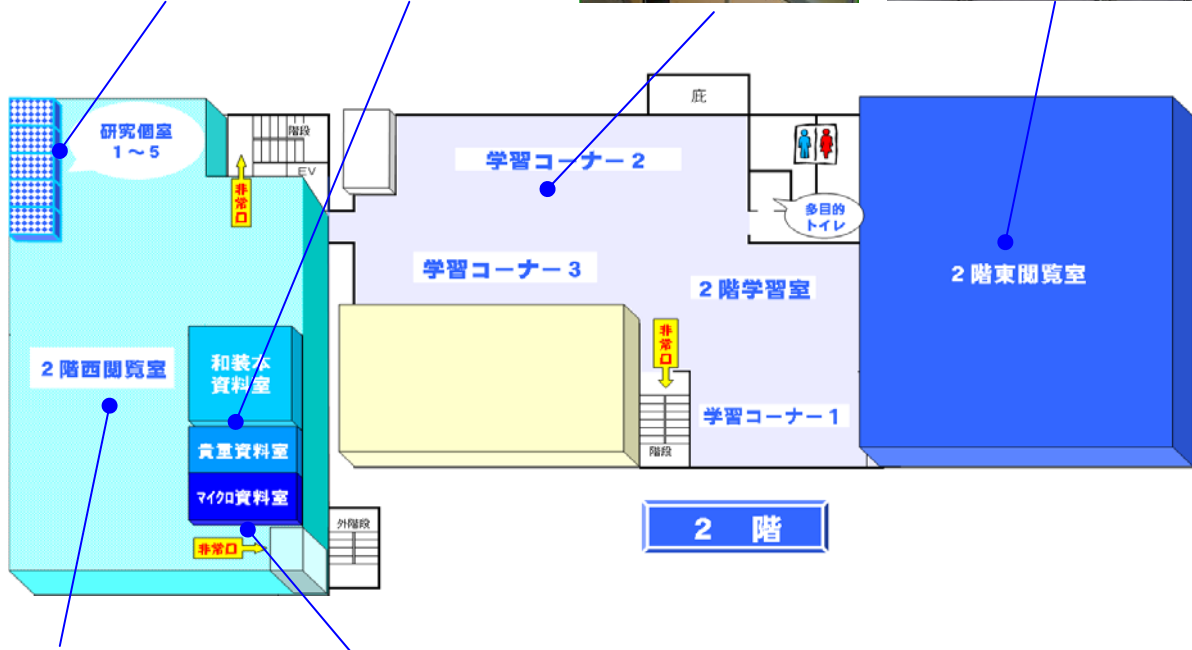
【和装本資料室・貴重資料室】
和装本と貴重資料が所蔵されている部屋です。



【学習コーナー2】
個人ブース感覚で利用できます。人気のエリアです。



【2階東閲覧室】
自然系図書を配置しています。机は全て一新されています。



【2階西閲覧室】
社会系図書を配置しています。



【マイクロ資料室】
マイクロフィルム等を配置し、閲覧のためのリーダーがあります。



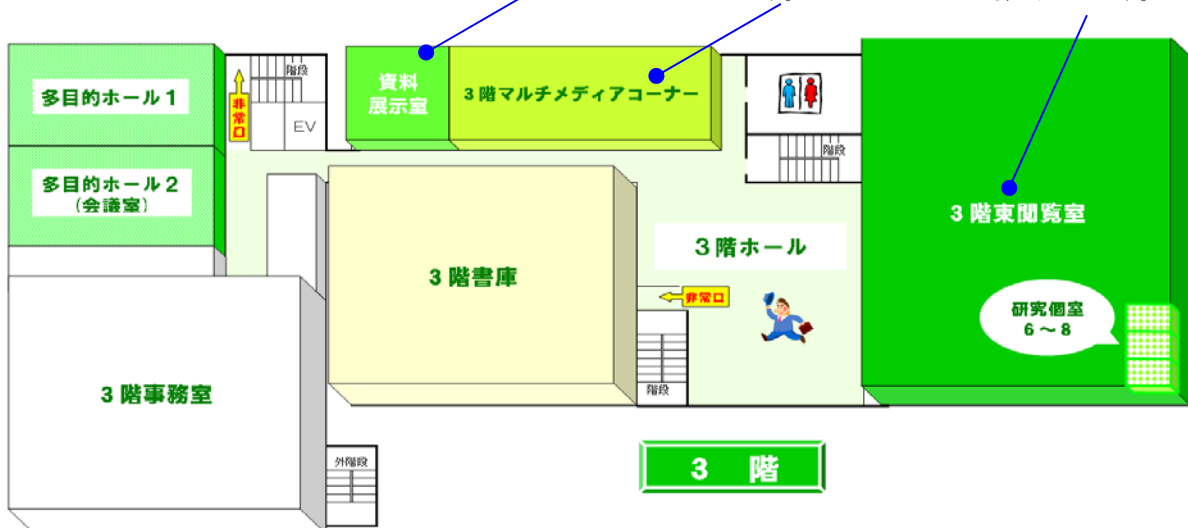
【資料展示室】
資料等の展示会を開催します。



【3階マルチメディアコーナー】
26台のPCを配置し、スクリーンも備えています。



【3階東閲覧室】
人文系の図書を配置しています。机は全て一新されています。



1.2. 蔵本分館

医学，歯学，薬学及び生命科学分野の学生教職員向け資料を中心にサービスを提供しています。

【ミーティングルーム】

グループ学習室や混雑期の閲覧室として利用できます。



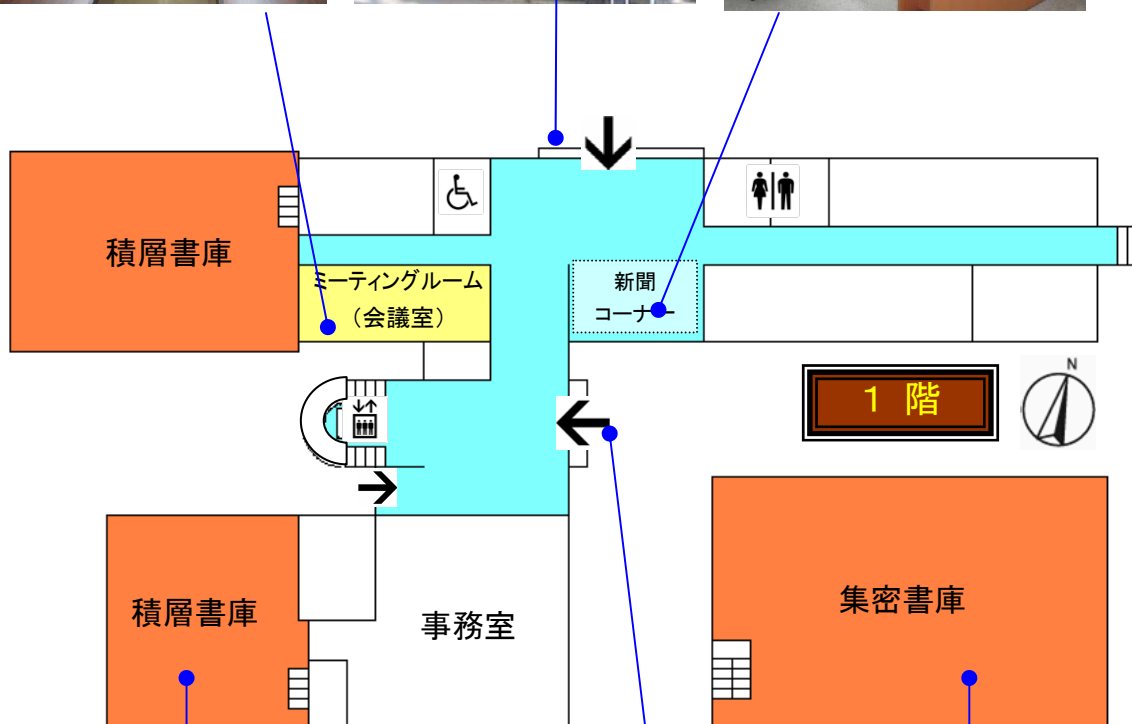
【玄関】

北側(歯学部側)の玄関です。



【新聞コーナー】

当日の新聞(5種)が閲覧できます。



【書庫】

雑誌のバックナンバーがタイトルのアルファベット(和雑誌はローマ字読み)順に並んでいます。



【玄関】

東側(医学部側)の玄関です。



【集密書庫】

人文科学，社会科学などの分野の資料や，他大学紀要，古い学術雑誌などを配架しており自由に閲覧できます。

【雑誌閲覧室】

新着学術雑誌を配架しています。奥には個人閲覧机もあります。



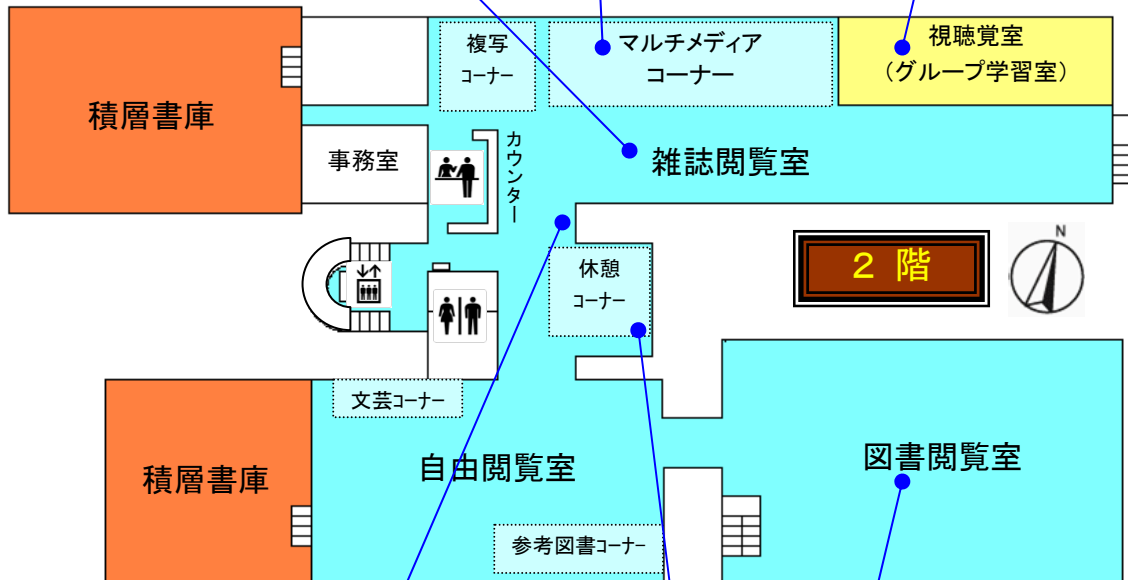
【マルチメディアコーナー】

インターネットに接続されたパソコンが利用できます。



【視聴覚室】

オーディオ・ビデオ資料やBS放送などが視聴できます。グループ学習にも利用できます。



【自動貸出装置】

図書の貸出や延長を自動で行います。



【休憩コーナー】

当日の新聞(2種)と月刊雑誌や週刊誌を置いています。



【図書閲覧室】

生命科学系を中心とした学習用図書や参考図書があります。

2. コレクション

2.1. 貴重資料

徳島大学附属図書館には、江戸時代に阿波(徳島県)と淡路(兵庫県淡路島)の両国を支配していた徳島藩及び蜂須賀家ゆかりの史料が収蔵されています。

これらは近世における地域史や藩政史の研究資料として学外からの利用も多いため、マイクロフィルムや複製資料の作成に加え、後述(→3.3)するような電子化にも取り組んでいます。

◎蜂須賀家家臣成立書并系図

徳島藩士各家が代々の家督相続者について、召出・相続・隠居・死亡の期日、禄高、役職及び系図・家紋などを書き上げ藩庁に提出したものです。天保5(1834)年に作成され、その後文久元(1861)年に書き継いだものが大部分ですが、一部寛政年間や明治期に書かれたものもあります。

提出者は家老などの重臣から無足人と呼ばれる下級家臣までのすべてに渡りますが、重臣の家譜にあたるものは現在も蜂須賀家が所蔵し、最下級の家臣についての部分は国文学研究資料館に収蔵されています。徳島大学で所蔵しているのは最上級と最下級を除く、いわば家臣団の中核にあたる1,802家の家譜であり、近世における国持大名家臣の様相について多様な情報を有する貴重な資料です。

収蔵時は各家譜ばらばらの状態でしたが、収蔵後に裏打ちや和装を施すなど長期保存のための処置を行い、249冊に分け整理、保存しています。



蜂須賀家家臣成立書并系図

◎近世古地図・絵図コレクション

徳島大学附属図書館には、200点を越える絵図・古地図類が貴重本として所蔵されており、いずれも学術・文化的価値が高い史料です。そのおもな内訳は「徳島」55点、「全国」20点、「諸国」49点、「江戸」44点、「京都」16点、「世界」17点となっています。これらの古地図の中には、蜂須賀家旧蔵の大集書であった「阿波国文庫」の印影が押されているものもあります。

このうち「徳島」の中には、阿波国・淡路国の国絵図(5鋪)をはじめ、徳島や洲本の城下絵図、近世後期の実測分間絵図(郡図・村図)、川絵図や村絵図などが含まれています。

国絵図とは、慶長10(1606)年、正保元(1644)年、元禄10(1697)年及び天保6(1835)年に幕府が各大名に命じて調進させたもので、寛永年間(1624～1644年)にも幕府巡見使を通じて献上されたといわれています。これら幕府に提出されたもののうち、幕府が直接作成した天保国絵図を除いては多くが失われていますが、諸藩が所有した控図や下図が今日に伝えられています。

また、「全国」の古地図の中には、伊能勘解由(忠敬)が作成した「沿海地図」(東日本3鋪;1804年)や「大日本沿海図稿」(西日本4鋪;年不詳)、慶応3(1867)年に幕府開成所から発行された「官板実測日本地図」(東日本4鋪)、諸国別の国絵図略図などが含まれています。



阿波国大絵図



御城下絵図



沿海地図 上



万国地理細図

2.2. 個人文庫

◎泉山文庫



本館所蔵。2,750 点。
郷土史家・島田麻寿吉氏(1874~1947, 泉山は同氏の号)旧蔵の郷土資料及び和漢書。

◎布川文庫



蔵本分館所蔵。190 点。
徳島県阿波市土成町布川清二郎氏旧蔵の江戸時代天和期から寛政期に及ぶ医学書。

2.3. 郷土資料

◎徳島県内関係資料

本館所蔵, 約 10,000 点。
徳島県及び徳島県を含む四国についての印刷体資料のコレクション。



2.4. 大型コレクション

◎府県統計書集成(明治・大正・昭和戦前)



昭和 59(1984)年度本館収蔵。
マイクロフィルム 1,140 巻。
各都道府県の土地・人口・農業・産業教育等に関する統計の集大成

◎Industrial Relations and Labor Management. 1942-1978 (労働関係等学位論文集)



昭和 61(1986)年度本館収蔵。776 冊。
米国の労働関係の学位論文リプリント集

◎The Wall Street Journal & Index : Silver Format Eastern Ed. [1889-1987] Index [1955-1985]



昭和 63(1988)年度本館収蔵。
 マイクロフィルム 539 巻, 冊子 31 点 33 冊, 索引。
 米国の著名な経済紙のバックナンバーコレクション。世界経済を研究するための重要文献。

◎空中写真 四国東部地域 (建設省国土地理院)



平成 3(1991)年度本館収蔵。約 5,700 枚。
 撮影年度昭和 49~53 年。
 撮影縮尺 8 千分 1~1 万 5 千分 1。
 地形・建造物の立体視が可能であり地形・地質等の基礎資料で地理学・経済学等の広範な利用が可能。

◎静嘉堂文庫所蔵古辞書集成



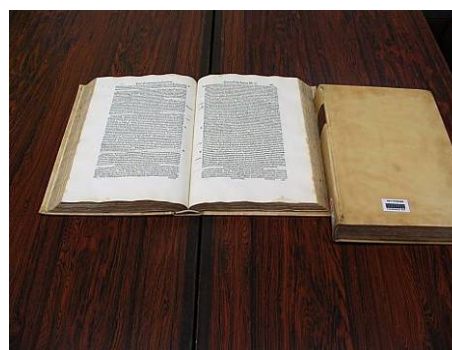
平成 5(1993)年度本館収蔵。マイクロフィルム 178 巻 (原本 361 点 2,137 冊)。
 平安から明治初期の古辞書, 考証・研究書の集大成。

◎Landolt-Bornstein Numerical data functional relationships in science & technology (ランドルト=ベルンシュタイン数値表)



平成 7(1995)年度本館収蔵。59 冊。
 物理・化学・天文・地球物理・工学にわたる広範囲な物理定数表。

◎Galen: Omnia quae extant opera. Llvos in 7. 1550-51 (ガレノス全集)



平成 11(1999)年度蔵本分館収蔵。全 7 巻。
 1550~1551 年にヴェネチアで刊行。
 古代ギリシアの医学者ガレノスの業績集大成。

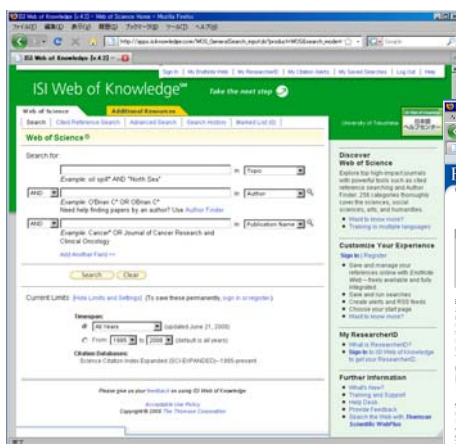
3. 電子図書館サービス

徳島大学附属図書館では、データベースや電子ジャーナルなどネットワークで提供される学術情報の導入を積極的に推進しています。また、貴重資料の電子化やポータル機能の整備にも取り組んでいます。

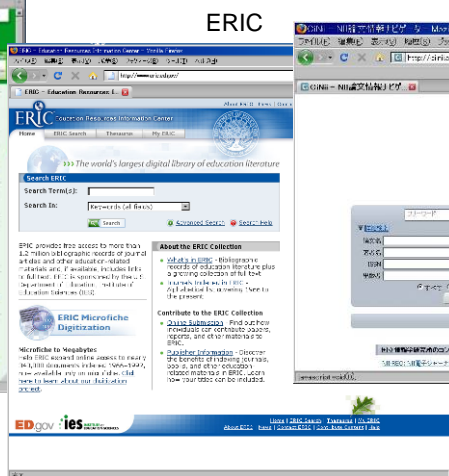
3.1. データベース

学内のネットワークから利用できるデータベースを各種取り揃えています。

- 総合・一般
 - CiNii (国立情報学研究所(NII)による総合学術データベース)
 - JapanKnowledge+N (国内有力出版・新聞社の辞書・事典で構築された知識ポータルサイト)
 - 聞蔵 II ビジュアル (朝日新聞, AERA, 週刊朝日の記事データベース)
 - 日経 BP 記事検索サービス (日経 BP 社刊行約 50 誌のバックナンバー記事データベース)
- 自然科学・医学系
 - Web of Science : Science Citation Index Expanded (学術文献・引用索引データベース)
 - Scifinder Scholar (世界最大の化学的情報データベース)
 - 化学書資料館 (日本最大の化学知識サイト)
 - PubMed (米国国立医学図書館による医学及び関連領域文献データベース)
 - UpToDate(臨床医のための診断・治療指針についての医学情報データベース)
 - 医中誌 Web (日本国内の医学及び関連領域文献データベース)
 - MathSciNet (米国数学会(AMS)による数学及び応用領域文献データベース)
- 人文・社会科学系
 - ERIC (米国教育省と国立教育学会館による教育学基本データベース)
 - D1-Law.com (第一法規による法情報総合データベース)
- その他
 - INIS Online Database (国際原子力機関(IAEA)収集の原子力文献情報データベース)
 - JCR Science Edition (学術誌及び掲載論文の利用度・価値評価のためのデータベース)



Web of Science



ERIC



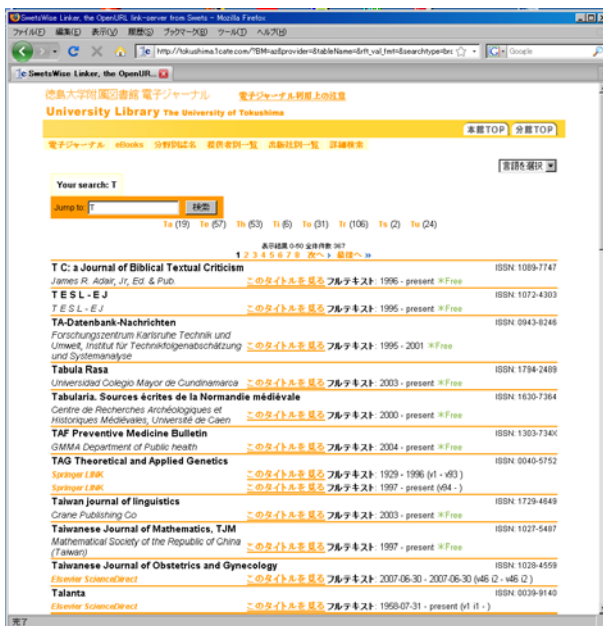
CiNii

3.2. 電子ジャーナル

電子ジャーナルとは、インターネット経由で本文の読める雑誌のことで、印刷媒体の雑誌よりも早く読む事ができます。

徳島大学では主要な出版社系電子ジャーナルパッケージとして、ScienceDirect, Wiley InterScience, SpringerLink, ACS (American Chemical Society), Nature Journals 等を導入しています。これらパッケージの収録誌は電子ジャーナル管理ソフト SwetsWise Linker により、出版社等に関係なく誌名順リストから探すことができ、無料電子ジャーナルも含め約 10,700 タイトルの電子ジャーナルを利用することができます。

また、SwetsWise Linker には「リンクリゾルバ」と呼ばれる機能があり、これによりデータベースの書誌情報から電子ジャーナルのフルテキストや図書館の冊子体所蔵情報を直接参照することができます。



電子ジャーナル誌名順リスト

【リンクリゾルバによるデータベース書誌から電子ジャーナルフルテキストへのアクセス(イメージ)】

データベース書誌情報 → リンクリゾルバ中間窓 → 電子ジャーナルフルテキスト



※リンクリゾルバがない場合は電子ジャーナルサイトで検索をやり直す必要がある



3.3. 貴重資料のデジタル化

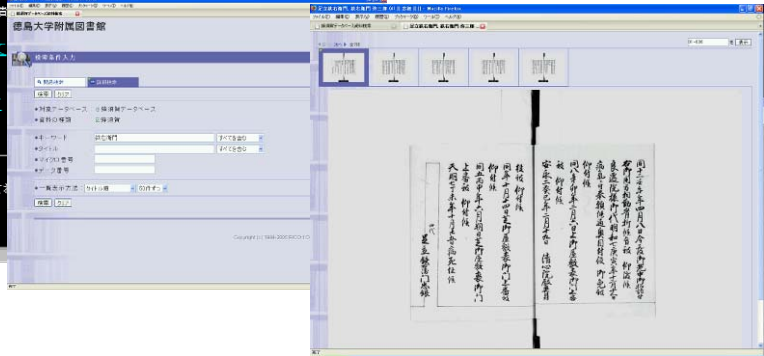
前述記事(→2.1)で紹介した貴重資料「蜂須賀家家臣成立書并系図」及び「近世古地図・絵図コレクション」は、研究資料として広く内外の利用に供されるべきものですが、同時に後世のため良好な状態で保存される必要があります。この二つの課題を両立させる手段の一つとして、徳島大学附属図書館では貴重資料をデジタル化し公開しています。



◎蜂須賀家家臣団家譜史料データベース

平成 17 年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)により「蜂須賀家家臣成立書并系図」を画像データベース化し、平成 19(2007)年に公開を開始しました。

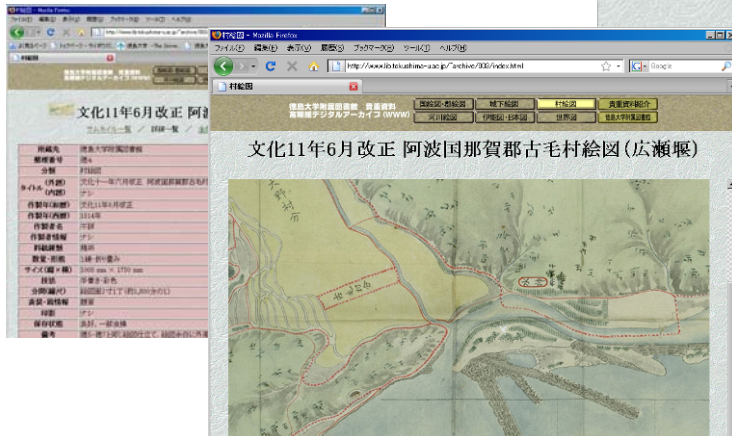
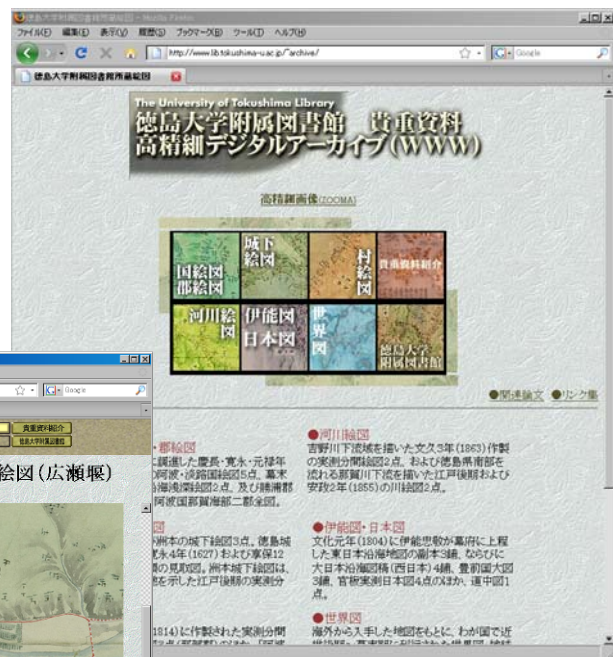
データベースには表紙等も含めた資料全文の画像約 25,800 枚が家名や個人名のインデックスを付して収録されており、インターネット上から検索、閲覧することができます。



◎近世古地図・絵図コレクション高精細デジタルアーカイブ

平成 10～11 年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)により「近世古地図・絵図コレクション」のうち主要なものを高精細デジタルアーカイブ化し、平成 11(1999)年に公開を開始しました。

インターネット上からは簡略画像を閲覧できるほか、一部については拡大表示することができます。



4. 広報

4.1. 附属図書館ホームページ

<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/>



本館ホームページ



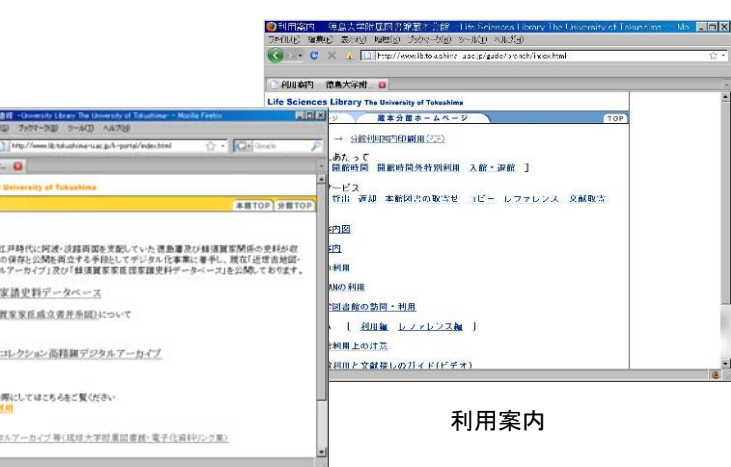
蔵本分館ホームページ

徳島大学附属図書館ホームページでは、図書館の最新情報、利用案内、各種手続案内、講習会案内等の情報のほか、前述した電子図書館サービス(電子ジャーナル、データベース、貴重資料)へのポータルサービスを提供しています。

ポータルとは「入口」「玄関口」の意味で、様々な情報やサービスを利用者の視点に立ってワンストップで利用できようにするサービスです。電子図書館のほか「学生ポータル」「教員ポータル」「貴重資料ポータル」等を用意して、インターネット上で情報を発信しています。



学生ポータル



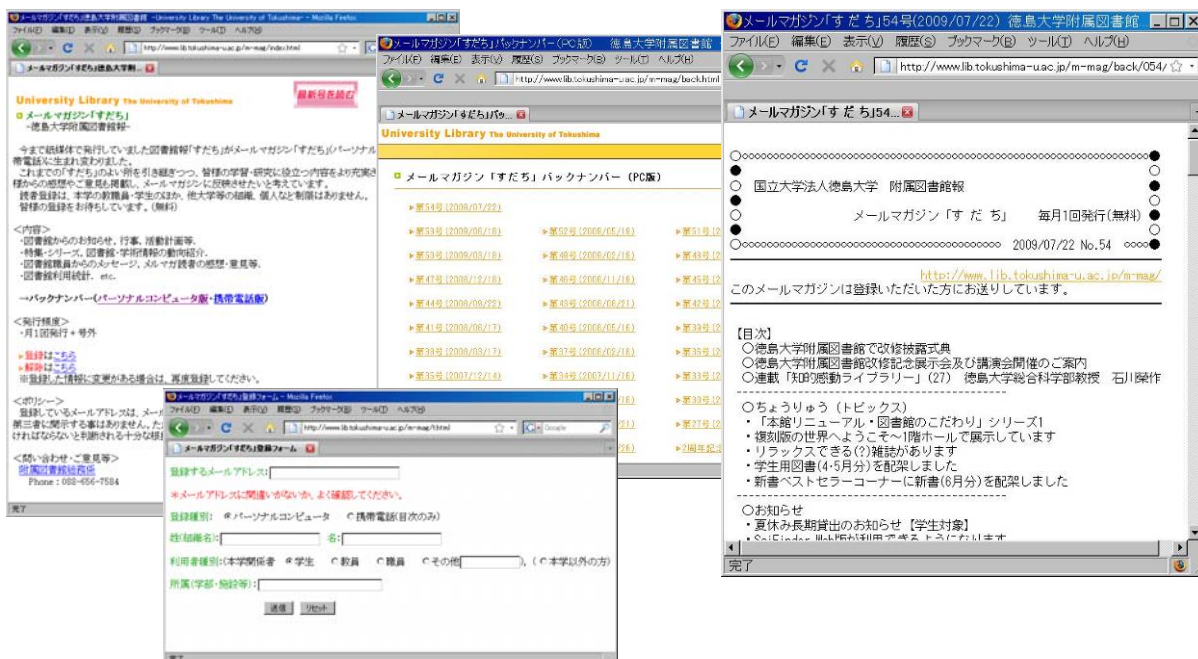
貴重資料ポータル

利用案内

4.2. メールマガジン「すだち」

徳島大学附属図書館では昭和 39(1964)年から図書館報「すだち」を刊行してきましたが、速報性や配布部数といった紙媒体の限界を超えることを目的として、全国に先駆け平成 17(2005)年 2 月からメールマガジンに完全移行しました。

パーソナルコンピュータ版と携帯端末版があり、徳島大学の学生教職員に限らずどなたでも無料で読むことができます。配信登録は附属図書館ホームページの専用フォームで簡単にできるほか、バックナンバーも読むことができます。



4.3. 概要及び年次報告書

附属図書館について学内外の利用者に紹介する「図書館概要」(本冊子)と前年度に行った事業や業績を報告する「年次報告書」を毎年刊行しています。これらは冊子体で配布されるほか、電子化したものを附属図書館ホームページ上で読むことができます。



5.2. 知的感動ライブラリー

平成 19(2007)年度から「知的感動ライブラリー」と称し、学生、教職員、一般市民、生徒等が共に芸術作品に接し或いは読書する喜びを分かち合いながら読書習慣並びに情操教育を推進することを目的として、石川前館長を講師として毎月 1 回映画・オペラ鑑賞会や読書会等を開催しています。

また、開催案内を兼ねてメールマガジン「すだち」に連載記事を掲載しています。

なお、映画・ビデオ等の上映会は事前に著作権者等の許諾を得たうえで開催しており、許諾を得られない場合は視聴覚コーナーでの個人鑑賞とメールマガジンまたは原作読書会での解説により実施しています。

第 16 回 8 月 28 日(木)

イタリア歌劇『リゴレット』DVD 鑑賞会
オーストリア・バーデン市立劇場徳島公演(9 月 15 日)の勉強会

第 17 回 9 月(※メールマガジン上での解説)

イタリア歌劇『アイダ』(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

第 18 回 10 月(※メールマガジン上での解説)

映画『ロミオとジュリエット』(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

第 19 回 11 月(※メールマガジン上での解説)

ミュージカル映画『ウェスト・サイド物語』(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

第 20 回 12 月(※メールマガジン上での解説)

アメリカ映画『トリスタンとイゾルデ』(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

第 21 回 1 月(※メールマガジン上での解説)

ワーグナーの楽劇『トリスタンとイゾルデ』(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

第 22 回 2 月(※メールマガジン上での解説)

マスネの歌劇『ウェルテル』(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

第 23 回 3 月(※メールマガジン上での解説)

グノーの歌劇『ファウスト』(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

第 24 回 4 月(※メールマガジン上での解説)

松竹映画『坊っちゃん』(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

第 25 回 5 月(※メールマガジン上での解説)

三島由紀夫原作の映画『潮騒』(図書館所蔵 DVD を個人鑑賞)

第 26 回 6 月 29 日(月)

東映映画『バルトの楽園(がくえん)』DVD 鑑賞会[多目的ホール]

第 27 回 7 月 31 日(金)

東宝映画『八甲田山』(昭和 52 年)DVD 鑑賞会[多目的ホール]

※許諾を得られなかったため上映会形式を取らなかった。

6. 地域社会及び学外機関との連携・協力

6.1. 一般市民への図書館公開

徳島大学附属図書館では昭和 63(1988)年度から貸出を含めた一般の方への利用サービスを開始しました。平成 10(1998)年度から利用申請手続を簡素化し、申込み当日から利用できるようになっていきます。なお、貸出日数及び冊数は下表のとおりです。

| | | |
|------|----|------|
| | 冊数 | 期間 |
| 本館 | 5冊 | 14日間 |
| 蔵本分館 | 3冊 | |

その他利用について詳しくはホームページの案内をご覧になるかカウンターでお訊ねください。また、最近2年間の学外の方の利用状況は下表のとおりです。

| | 年度 | 本館 | 分館 | 計 |
|------|----|---------|---------|---------|
| 登録者数 | 20 | 763人 | 1,006人 | 1,769人 |
| | 19 | 1,087人 | 646人 | 1,733人 |
| 入館者数 | 20 | 11,111人 | 12,008人 | 23,119人 |
| | 19 | 18,598人 | 7,668人 | 26,266人 |
| 貸出人数 | 20 | 794人 | 705人 | 1,499人 |
| | 19 | 1,070人 | 416人 | 1,486人 |
| 貸出冊数 | 20 | 2,026冊 | 1,465冊 | 3,491冊 |
| | 19 | 2,702冊 | 919冊 | 3,621冊 |

6.2. 県内図書館との連携

◎徳島県内図書館の統合情報検索

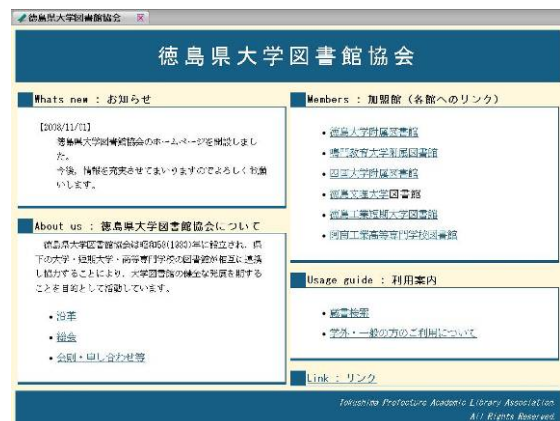
<http://svdmz1cs01.tokushima-ec.ed.jp/ilisone/>
(徳島大学附属図書館のホームページからもリンクしています)

徳島県立図書館が運用する統合情報検索サービスに参画しています。このサービスにより、徳島県立図書館、徳島県内の主要市・町立図書館、徳島大学附属図書館、及び鳴門教育大学附属図書館の蔵書約320万冊以上を横断検索することができます。

なお、徳島県立図書館には徳島大学附属図書館の利用案内を送付し、利用者に配布しています。

◎徳島県大学図書館協会

徳島県大学図書館協会は、県内の大学等図書館の連携を緊密化することにより図書館の発展を期すことを目的として1983(昭和58)年に設立され、徳島大学、鳴門教育大学、徳島文理大学、四国大学、徳島工業短期大学、及び阿南工業高等専門学校各図書館が加盟し活動を行っています。



徳島県大学図書館協会ホームページ
<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/TPALA/index.html>

平成 19(2007)年度から徳島大学附属図書館が幹事館を務めています。

6.3. 大学図書館の協会・協議会

徳島大学附属図書館は、前述した徳島県大学図書館協会のほか、中四国地方や全国の各種大学図書館関係団体に加盟し連携活動を行っています。

◎国立大学図書館協会

全国の国立大学、放送大学及び大学共同利用機関の計 91 図書館を会員とする組織で、図書館機能の向上を支援するとともに学術情報流通基盤の発展に貢献し、もって大学の使命達成に寄与することを目的としています。大学図書館の機能向上に関し必要な調査研究、学術情報資源の共同整備と相互利用の促進、大学図書館職員の資質向上のための事業、及び学術情報流通に関する国内外の団体との連携・協力等の事業を行っています。



国立大学図書館協会ホームページ
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/janul/>



国立大学図書館協会中国四国地区協会ホームページ
<http://simone.lib.okayama-u.ac.jp/>

◎国立大学図書館協会中国四国地区協会

中国四国地方 9 県の国立 10 大学の図書館を会員とする組織で、国立大学図書館協会の地域組織として他地区協会等と連携するほか、独自の事業グループ等を形成し、より地域に密着した課題や活動に取り組んでいます。

◎中国四国地区大学図書館協議会

中国四国地方 9 県の 62 大学の図書館を会員とする組織で、国立・公立・私立の枠を超えて大学図書館の共通問題を研究討議し、その健全な発展を期することを目的としています。大規模な研修事業として「中国四国地区大学図書館研究集会」を毎年開催しており、平成 19(2007)年度は徳島県で開催されました。

◎日本医学図書館協会

医・歯・保健・生命科学領域の学部等を持つ大学や病院等医療機関の図書館及び個人を会員とする組織で、図書館事業の振興等により保健・医療その他関連領域の進歩発展に寄与することを目的としています。



日本医学図書館協会ホームページ
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jmla/>

7. 所在地・アクセス

7.1. 所在地と交通アクセス



◎本館

〒770-8507 徳島市南常三島町2丁目1番地（徳島大学常三島キャンパス内）

【徳島空港から】

- 徳島駅行リムジンバスに乘車、「徳島大学前」下車，徒歩約5分。

【JR徳島駅から】

- 徳島市営バス「島田石橋」行，「商業高校」行，「循環線(左回り)」等に乘車，「助任橋」又は「徳島大学前」下車，徒歩約5分。

◎蔵本分館

〒770-8508 徳島市蔵本町3丁目18番地の15（徳島大学蔵本キャンパス内）

【徳島空港から】

- 徳島駅行リムジンバスに乘車，「徳島駅」下車，バスまたはJR乗換え。

【JR徳島駅から】

- 徳島市営バス「上鮎喰」行，「地藏院」行，「名東」行，「循環線(右回り)」等に乘車，「蔵本中央病院前大学病院前」又は「医学部前」下車，徒歩約5分。
- JR徳島線(よしの川ブルーライン)阿波池田方面行(下り)に乘車，「蔵本駅」下車，徒歩約10分。

※ 徳島駅から常三島・蔵本各キャンパスへのバス路線について詳しくは，徳島駅前バス乗り場の案内所でお訊きください。また，下記のサイトでも調べることができます。

- とくしまバス Navi <http://www.tokushima-tdm.jp/bus/pc/>
- 徳島市交通局 <http://www.city.tokushima.tokushima.jp/bus/>
- 徳島バス <http://www.tokubus.co.jp/>

7.2. キャンパスマップ

◎常三島キャンパス



附属図書館本館
2009年6月リニューアルオープン

◎蔵本キャンパス



附属図書館蔵本分館



徳島大学附属図書館概要 平成 21 年度

平成 21 年 8 月発行

発行 徳島大学附属図書館

〒770-8507 徳島市南常三島町 2 丁目 1 番地

Tel. (088)656-7584

<http://www.lib.tokushima-u.ac.jp/>

編集 徳島大学附属図書館広報検討ワーキンググループ



徳島大学は、学校教育法第 69 条の 3 第 2 項の規定による「大学機関別認証評価」を受け、「大学評価基準を満たしている」と認定されました。

(平成 19 年 3 月 28 日)

- 認証評価機関：独立行政法人大学評価・学位授与機構
- 認証期間：7 年間（平成 19 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）